



ごあいさつ

「誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていける品川」をめざして

介護保険制度も平成12年に開始されてから令和5年度で24年目を迎え、高齢者の介護を支える基盤として定着し、発展してきています。

現在の品川区における高齢者人口の割合（高齢化率）は、ここ数年20%程度で推移し、そのうち75歳以上の人数が65歳から74歳までの人数を上回る状況にあります。また、認知症高齢者の増加など、今後も介護事業にかかるサービス量や費用等の増加が見込まれます。

今年度は、令和6年度からの3年間の第九期介護保険事業計画を策定する年にあたります。新型コロナウイルス感染症の影響による高齢者の心身機能の低下も懸念されている中、介護予防や介護サービス、その他施策の充実と適正な介護保険料を定めるため、高齢者等の状況をふまえて将来をしっかりと見据え、様々な課題解決に向け事業計画を作成してまいります。また、介護サービス事業者など関係機関とさらなる連携を図りながら高齢者をはじめ「誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていけるしながわ」を創ってまいります。

これからも、区の介護保険事業および高齢者福祉施策に区民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いするとともに、ぜひ、このパンフレットを十分にご活用いただき、「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」ことができますことを心から願っております。

令和5年4月

品川区長 森 澤 恭 子

品川区がめざす高齢者介護の目標

「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」

高齢者と家族が、介護保険サービスを含む公的サービスと住民の共助活動、民間サービスを活用しながら、心身の機能が低下しても住み慣れた「我が家」での生活を送ることができる。そのなかで、在宅生活を可能な限り追求し、その継続が困難になった場合には、施設への入所の見通しが立つ。

高齢者介護の7原則

1 自立支援と家族への支援

介護が必要な高齢者等の自立の支援とその家族の支援をめざすこと

2 利用者本位

介護サービス利用者の意思と選択が尊重されること

3 予防の重視

高齢者等の心身の能力の維持向上と、その機能の低下の予防を重視すること

4 総合的効率的なサービスの提供

保健・福祉・医療の連携により、介護サービスが総合的かつ効率的に提供されること

5 在宅生活の重視

高齢者等が可能な限り自宅で生活を送ることができるための支援を重視すること

6 制度の健全運営

保険財政の健全な運営を行うとともに、制度の公平かつ公正な運営を図ること

7 地域の支え合い（コミュニティサポート）

地域における住民相互の支援活動との連携が図られること

